

会 議 録	
会議名	令和4年度 山陽小野田市男女共同参画審議会（第2回）
開催日時	令和5年1月23日（月）14：00～15：30
開催場所	市民館 第二講義室
出席者	末永 育恵、山本 シゲ子、大塚 悠平、 松村 孝子、大本 章男、岡部 つや子、 堤 千佳子、有田 光枝、岡本 真美、 中村 聡、西村 浩之、中川 正治 委員数 14名 出席者数 12名 委任状 2名
欠席者	池田 耕己、宮崎 裕之
事務局等	市民部次長 河上 雄治、市民活動推進課長補佐 西崎 大、 市民活動推進課 主事 山土 江里奈
会議次第	1 開会 2 開会挨拶（次長挨拶） 3 議題 ・第4次さんようおのだ男女共同参画プラン意見について 4 閉会
会議内容	3 議題 （1）第4次さんようおのだ男女共同参画プラン意見について  委員からいただいた意見について修正内容を事務局より説明した。（別紙）  ～委員からの意見～ （委員）とりあえず育休を取る人も増えていると聞く。実際に企業側はどうか。  （委員）当企業は育休を取ると、給料が減額される。そのリスクを負ってまで育休を取っている。プライベートなことまでは介入しないので分からないが、新卒の方々は、育休が取れるかどうかが入社の判断基準にもなっていると聞いている。  （委員）育休を取る人が増えてはいるけど、取得率はあまり高くないので、デメリットをできるだけ小さくして、取りやすくしていくことが大事なのは。  （委員）「農林水産業における男女共同参画の推進」の評価がずっと E になっている。担当課によく確認をしてほしい。  （委員）防災活動における男女共同参画の推進について、男性が災害時に何もしていないような書き方になっている。表現の仕方を変えた方がいい。  （委員）防災活動と被災時における避難活動は分けて考える方がよいのでは。  （事務局）防災活動の部分は、表現を変え修正する。  （委員）次のアンケートの際に、男女共同参画について考えたことがあるかどうかの内容をいれたらどうか。  （事務局）次回のアンケートの内容にいれることを検討する。プランの中にも意識改革という言葉があるが、どういう意識があるかというのを前提で確認しないといけない。

(委員) ジェンダー平等という理解が難しい。分からない人が多いのでは。

(委員) 来年度から、女の子でもスラックスの制服を選べるように変わる学校もある。それもジェンダー平等への取組といえる。

(委員) 行政の文章は難しい言葉が多いので、用語解説は重要になってくる。

(委員) プランは誰が見るのか。

(事務局) 市民の方、企業、他市の男女共同参画課。一般市民の方へは、プランだけだと分かりづらいため、パンフレット等で周知していく。

(委員) 市外への転出が多いとなっているが、山陽小野田市には魅力がないのか。子育て世帯向けへの施策などはしているのか。

(事務局) 子育て支援策が各自治体で競争となっている。子どもが生まれた方への給付金への所得制限の撤廃の検討をしている。子育て支援課の推進プランで色々な施策を考えていくこととしている。